

お知らせ

道央自動車道 砂川SAスマートインターチェンジ 現在の利用状況について

【お知らせ内容】

砂川SAスマートインターチェンジ（以下、砂川SAスマートIC）が平成27年8月8日に開通し、1年が経過しました。現在の利用状況について取りまとめましたのでお知らせします。

■砂川SAスマートICの利用状況

- *開通後1年間（平成27年8月8日～平成28年7月31日）の日平均出入交通量は約380台。累計では、約14万台のご利用をいただいております。
- *平日は日平均 約370台、休日では日平均 約450台のご利用がありました。
- *特に大型連休には平日と比較して約1.4～2.4倍のご利用があり、平成28年5月のゴールデンウィークは日平均約540台、お盆は日平均約920台でした。

■砂川SAスマートIC開通による効果 ※詳細は別添資料をご覧ください。

1）砂川市立病院への救急搬送を支援

- *砂川SAスマートICの開通により、旭川方面から砂川市立病院への救急搬送時間は、夏期は約1分、冬期は約4分短縮され、迅速な救急活動を支援しています。
- *砂川SAスマートICの開通後、滝川地区からの救急搬送件数は約1.2倍増加、深川地区も約1.3倍増加し、広域的な医療活動に貢献し、安全で安心な地域生活を支えています。

2）観光施設へのアクセス支援

- *砂川SAスマートIC開通により、イベント開催時の砂川SAスマートICの利用が平均の約2.2倍に増加。来場者も約1.3倍に増加し、観光の活性化に寄与しています。
- *観光客アンケートからも観光施設への移動が便利になったという意見が多く、アクセス性の向上が図られ、誘客効果がでています。

3）地域産業への貢献

- *砂川SAスマートICを利用することにより、道央砂川工業団地から隣接IC（滝川IC、奈井江砂川IC）までの所要時間は約4分～6分短縮され、アクセス性が向上しています。
- *道央砂川工業団地の企業は、砂川SAスマートICに近接するメリットを活かして、生産活動の効率化が図られています。特に運送会社では、時間短縮などにより稼働台数が増加し、効率的な運送ができるなど生産性向上に貢献しています。
- *砂川SAスマートICを利用した生産性向上などを期待して、近隣に店舗を新設したり、店舗拡張に着手するなど設備投資が進んでいます。

■開通後の認知拡大・利用促進に向けた取組

砂川SAスマートICを広く知っていただき、より多くの方にご利用いただくために関係機関と協力した取組みを各種実施してきました。

◆認知拡大に向けた取組

【ポスター、チラシの配置】

＊道内道の駅、新千歳空港、北海道子どもの国、道内各市町村、道内SA・PA、砂川市内各所に砂川SAスマートICのPRポスターを配置しました。

【ノベルティの配布】

＊砂川SAフェスタ、市内観光イベント、チカホPRイベントにおいて砂川SAスマートICをPRするノベルティ(ティッシュ)を配布しました。

◆利用促進に向けた取組

【観光雑誌に特集記事を掲載】

＊観光雑誌「北海道 じゃらん」平成28年5月号にすながわスマートロードの特集記事を掲載し、ご利用のお客様に対しETC利用特典を提供しました。ETC利用特典のご利用は136人でした。

※これまで、平成27年10月号、平成28年5月・10月号の計3回特集を掲載、冬に向けた特集掲載も現在検討中

【関連イベント等の取組】

＊開通を期に、砂川ハイウェイオアシスにおいて「なかそらち大収穫祭」が開催されることとなり、平成27年9月21・22日、初めて開催され、砂川SAスマートICをPRしました。多くの方にご来場いただき、来場者数は約2万2千人でした。今年も平成28年9月24・25日に開催され、来場者数約1万8千人でした。

【ETC車載器の搭載促進】

＊平成28年7月24日にETC車載器搭載促進キャンペーンとしてETC車載器搭載販売予約会をAコープ新すながわ本店(新砂川農業協同組合)で実施し、10件のご予約がありました。

＊砂川市では独自に、ETC車載器搭載促進補助金を平成27年1月から交付しています。

・平成27年度補助実績…129件 584,200円

・平成28年度(平成28年10月末現在)…79件 360,600円

補助金のご利用でETC車載器の搭載に要する費用が最大で3分の1安くなります。



■ETC車載器搭載補助金(砂川市民及び砂川市内事業所限定)

砂川市では、**砂川市民及び砂川市内の事業所が所有する自動車**を対象に、ETC車載器の搭載に要した費用の3分の1以内の額(上限額 5,000円)を交付します。期限は平成29年3月31日までです。この機会にぜひ、ご活用ください。詳細は、砂川市ホームページをご覧ください。

http://www.city.sunagawa.hokkaido.jp/shisei/kikaku_keikaku/sunagawa_sa/ETChojokin.html

■道央砂川工業団地の分譲における補助制度

砂川市では、道央砂川工業団地に新設・増設・移設する企業に対して補助を実施しています。

<http://www.city.sunagawa.hokkaido.jp/sangyou/shoukou/kogyodanti.html>

砂川SAスマートインターチェンジ開通

一年後

砂川SAスマートインターチェンジが
平成27年8月8日に開通し、1年が経過しました。

現在の利用状況について取りまとめましたのでお知らせします。

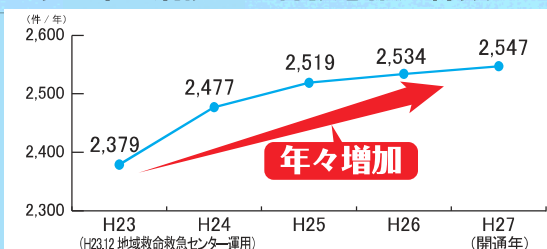
砂川SAスマートIC開通による効果

医療

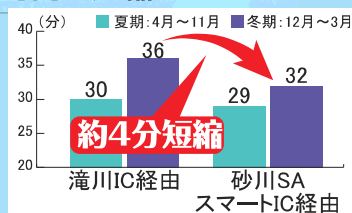
- 砂川SAスマートICの開通により、旭川方面から砂川市立病院への救急搬送時間は、夏期は約1分、冬期には約4分短縮され、迅速な救急活動を支援しています。
- 砂川SAスマートICの開通後、滝川地区からの救急搬送件数は約1.2倍増加、深川地区も約1.3倍増加し、広域的な医療活動に貢献し、安全で安心な地域生活を支えています。



▼砂川市立病院への総救急搬送件数※1

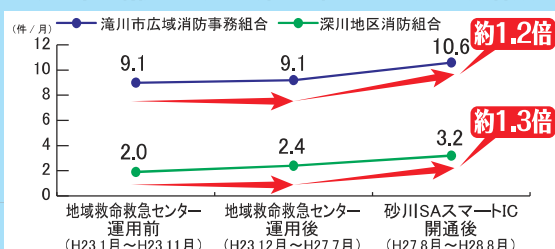


▼砂川市立病院への救急搬送平均時間の短縮※2



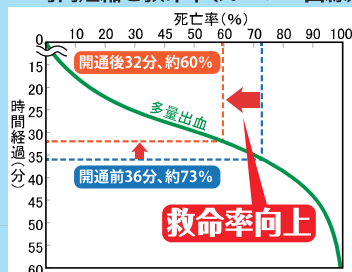
※2 出典: 深川地区消防組合救急搬送データ

▼砂川市立病院への滝川・深川地区からの救急搬送件数※1



※1 出典: 砂川市立病院救急搬送データ

▼時間短縮と救命率(カーラー曲線)



【深川消防組合職員】

砂川SAスマートICの利用により、砂川市立病院への搬送時間が実感として4～5分程度短縮されました。わずか数分の短縮であっても、1分1秒を争う重傷患者にとっては非常に大きな短縮であり、その効果は大きいと考えられます。

砂川SAスマートインターチェンジ開通

一年後

砂川SAスマートインターチェンジが
平成27年8月8日に開通し、1年が経過しました。

現在の利用状況について取りまとめたのでお知らせします。

砂川SAスマートIC開通による効果

観光

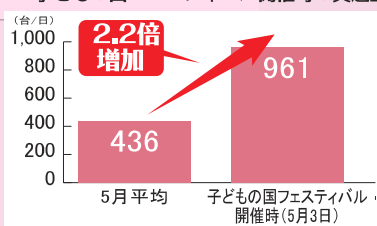
- 砂川SAスマートIC開通により、イベント開催時の砂川SAスマートICの利用が平均の約2.2倍に増加。来場者数も約1.3倍に増加し、観光の活性化に寄与しています。
- 観光客アンケートからも目的地への移動が便利になったと言う意見が多く、アクセス性の向上が図られ、誘客効果がでています。



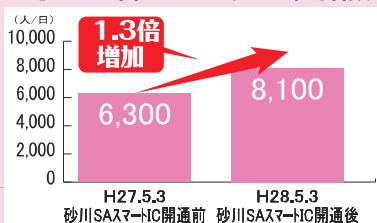
▼砂川SAスマートIC周辺観光マップ



▼子どもの国フェスティバル開催時の交通量



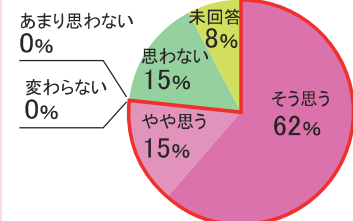
▼子どもの国フェスティバル来場者数



※出典：子どもの国フェスティバル来場者データ

▼観光客アンケート

Q. 砂川SAスマートIC開通により、目的地への移動が便利になりましたか？



約8割が
『移動が便利になった』
と回答

※出典：砂川市実施アンケート調査

【すながわスイートロード協議会加盟店】



砂川SAスマートIC開通後は、北海道子どもの国や周辺地域の商業施設との回遊が図られているものと思われます。今後も官民一体となった、砂川SAスマートICのPRを推進することが砂川市内への集客につながるものと認識しております。

砂川SAスマートインターチェンジ開通

一年後

砂川SAスマートインターチェンジが
平成27年8月8日に開通し、1年が経過しました。

現在の利用状況について取りまとめましたのでお知らせします。

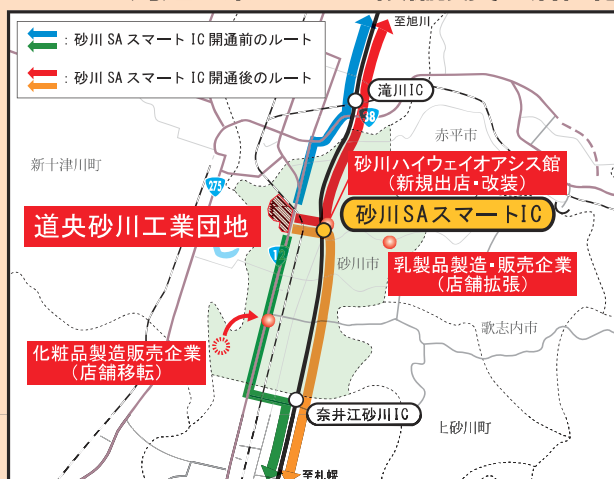
砂川SAスマートIC開通による効果

産業

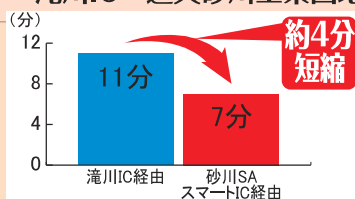
- 砂川SAスマートICを利用することにより、道央砂川工業団地から隣接IC（滝川IC、奈井江砂川IC）までの所要時間は約4分～6分短縮され、アクセス性が向上しています。
- 道央砂川工業団地の企業は、砂川SAスマートICに近接するメリットを活かして、生産活動の効率化が図られています。特に運送会社では、時間短縮などにより稼働台数が増加し、効率的な運送ができるなど生産性向上に貢献しています。
- 砂川SAスマートICを利用した生産性向上などを期待して、近隣に店舗を新設したり、店舗拡張に着手するなど設備投資が進んでいます。



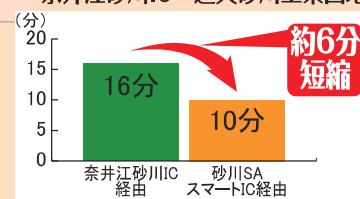
▼道央砂川工業団地へのアクセス と周辺企業における設備投資の活性化



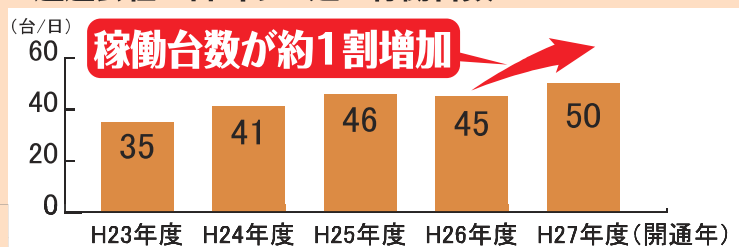
▼滝川IC～道央砂川工業団地



▼奈井江砂川IC～道央砂川工業団地



▼運送会社の日当りの延べ稼働台数



【道央砂川工業団地 運送事業者】

運送依頼に迅速に対応するために、高速道路を利用する機会が増えています。
砂川SAスマートICが開通したことで、運送時間の短縮が図られ、稼働台数の増加につながっています。